



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名 株式会社デジタルハーツ 上場取引所 東
コード番号 3620 URL http://www.digitalhearts.co.jp
代表者 (役職名)代表取締役社長 CEO (氏名)宮澤 栄一
問合せ先責任者 (役職名)執行役員 財務経理本部長 (氏名)風間 啓哉 (TEL)03(3379)2053
四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,978	13.8	352	△24.2	356	△23.0	196	△19.6
24年3月期第2四半期	2,618	—	464	—	463	—	244	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 195百万円(△16.1%) 24年3月期第2四半期 233百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	16.95	16.47
24年3月期第2四半期	21.11	20.49

- (注) 1. 当社は、平成24年7月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。また、平成24年10月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
2. 平成24年3月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,210	2,404	74.0
24年3月期	3,159	2,266	71.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,376百万円 24年3月期 2,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
25年3月期	—	6.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

- (注) 1. 当社は、平成24年7月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。
2. 平成24年10月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成25年3月期(予想)の期末配当については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当金は12円00銭(第2四半期末6円00銭、期末6円00銭)となります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,922	28.5	1,088	30.5	1,092	35.4	596	35.4	51.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、平成24年7月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。また、平成24年10月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり当期純利益金額については株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社デジタルハーツ・ビジュアル、除外 1社(社名)

(注) 詳細は、添付資料6ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	11,601,000株	24年3月期	11,596,200株
25年3月期2Q	—株	24年3月期	—株
25年3月期2Q	11,599,872株	24年3月期2Q	11,581,328株

- (注) 当社は、平成24年7月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。また、平成24年10月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 上記の業績予想につきましては、平成24年5月10日に公表致しました内容から変更しております。詳細につきましては、本日(平成24年11月2日)公表の「平成25年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)の5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当社は、平成24年7月1日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。また、平成24年10月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、業績予想の1株当たり当期純利益金額については株式分割の影響を考慮して記載しております。
- 四半期決算補足説明資料については、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載致します。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3.	四半期連結財務諸表	7
	(1) 四半期連結貸借対照表	7
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
	四半期連結損益計算書	
	第2四半期連結累計期間	8
	四半期連結包括利益計算書	
	第2四半期連結累計期間	9
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
	(4) 継続企業の前提に関する注記	11
	(5) セグメント情報等	11
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
	(7) 重要な後発事象	12
4.	(参考)四半期財務諸表(個別)	13
	(1) (参考)四半期貸借対照表(個別)	13
	(2) (参考)四半期損益計算書(個別)	
	第2四半期累計期間	14
5.	補足情報	15
	(1) 生産、受注及び販売の状況	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景に一部で緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、欧州金融市場の混乱等から海外経済の不確実性は依然として大きく、長期化する円高の影響もあり、先行きが不透明な状況で推移致しました。当社グループの関連市場であるソフトウェア、コンテンツ市場では、多様な消費者ニーズに対応するため、これまで以上に完成度の高いソフトウェア等をより低コストでスピーディに開発することが求められるようになりました。このため、メーカーや開発会社は人件費の削減に加え、高品質な製品の開発に経営資源を集中することを目的として、デバッグ工程をアウトソーシングする傾向にあり、この動きは引き続き拡大していくものと見込んでおります。

このような経営環境において、当社グループでは「Made in JapanからChecked by Japanへ」というスローガンのもと、国内外で増加傾向にある消費者の視点からのユーザーデバッグ需要と多様化する顧客ニーズに対応したサービス展開に注力して参りました。

その取り組みとして、デバッグ事業においては既存顧客に対しコンシューマゲーム及びデジタルソリューションリレーションの事業部門間連携を図った業界横断的な営業活動を強化し、きめ細かいサービス提供に努めて参りました。

また、システム検証分野への本格的な参入により事業領域が拡大している状況において、より一層顧客ニーズに対応した付加価値の高いサービスを提供するため、新規サービスの開発に積極的に取り組み、平成24年9月には、製品発売後において不具合が発生した場合、クライアント企業にその改修費用及び再デバッグ費用を保証する新サービス「ソフトウェア不具合検証保証サービス」の提供開始を実現致しました。

以上の結果、デバッグ事業の業績が堅調に推移し、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,978,716千円(前年同四半期比13.8%増)となりました。

また、国内売上高の拡大の一方で、今後の事業拡大に備えた海外展開への積極的な投資を行った結果、営業利益は352,292千円(前年同四半期比24.2%減)、経常利益は356,728千円(前年同四半期比23.0%減)、四半期純利益は196,615千円(前年同四半期比19.6%減)となりました。

①デバッグ事業

(i) コンシューマゲームリレーション

日本国内のコンシューマゲーム市場におきましては、ニンテンドー3DS™の普及が進み、当第2四半期連結累計期間のゲームソフトの販売市場は前年同四半期比115.8%(平成24年9月末時点、エンターブレイン調べ)と拡大するとともに、新型ハード「Wii U™」の発売にあわせ年末商戦の盛り上がりが見込まれております。

このような状況のもと、当社グループでは前連結会計年度に取引拡大を実現した大口顧客企業各社からの安定受注を図るとともに、今後増大すると見込まれるデバッグ需要に備えるため、新たに「浅草Lab.(ラボ)」を設立致しました。

また、引き続き、オンラインゲーム等のリピート率の高い案件の獲得に向けた営業活動にも積極的に注力して参りました。

さらに、連結子会社のDIGITAL Hearts USA Inc.では、デバッグ人員の拡充及びセキュリティ環境の強化を目的にオフィスを移転し拡張するなど、今後の事業規模の拡大に備えて参りました。

その結果、引き続き顧客企業からのアウトソーシング比率拡大に注力しているものの、アウトソース需要が著しく大幅に増加した前年同四半期と比べ、当第2四半期は受注が安定的に推移したため、当第2四半期連結累計期間のコンシューマゲームリレーションの売上高は1,205,183千円(前年同四半期比11.4%減)にとどまりました。

(ii) デジタルソリューションリレーション

モバイルコンテンツビジネスを取り巻く環境は、スマートフォンの普及により、ソーシャルゲーム市場が世界規模で拡大するとともにモバイル端末機能の多様化が進むと同時に、スマートフォン向けのアプリ数も大幅に増加致しました。

このような状況のもと、環境変化の早いソーシャルゲーム市場では、開発期間の短期化が進むとともに、継続してユーザーを維持するためさらなるゲーム品質の向上が求められる傾向にあり、開発企業各社からのデバッグ工程のアウトソーシングが拡大し、受注案件の増加に繋がりました。

また、従来からコンシューマゲーム分野で取引関係のある顧客企業各社が本格的にソーシャルゲーム領域に参入していることから、当社グループでは、コンシューマゲームリレーションで培った顧客基盤を活かした受注活動に注力し、既存顧客からのアウトソーシング比率の拡大を図って参りました。

さらに、スマートフォンやスマートタブレットを社内システムと連携させて導入する企業が増加傾向にあるため、ビジネスアプリをはじめ、前連結会計年度より本格的に取り組んでいるシステム検証の実績を活かした新規顧客の開拓にも注力して参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のデジタルソリューションリレーションの売上高は808,687千円(前年同四半期比48.6%増)となりました。

(iii) アミューズメントリレーション

日本国内のパチンコ市場における遊技機メーカー各社では、新内規対応機の登場によりゲーム性及び演出の多様化が進むとともに、パチスロ市場においても市場の拡大に伴い、新機種の開発が活発化致しました。

このような状況のもと、当社グループでは、開発の上流工程と連動した効率的なデバッグ体制の強化と、デバッグに関連するサービスの拡充を推進することにより、顧客ニーズを捉えたサービス提供に注力して参りました。

その結果、これまで提案営業を積極的に実施してきた顧客からの取引拡大につながり、当第2四半期連結累計期間のアミューズメントリレーションの売上高は835,455千円(前年同四半期比17.2%増)となりました。

② その他の事業

当社グループでは、多様な収益源による安定的な事業の成長を図るべく、新しいマーケットへの参入や事業ノウハウを活用した新規事業の開発に積極的に取り組んでおります。

ゲームの制作支援を行う開発アウトソーシング事業では、ゲームソフトウェア関連のトータルアウトソーシングニーズに対応するため、当社グループでは、連結子会社である株式会社G&Dを通じて、グローバルネットワークを活かしたサービスの提供に努めて参りました。

3Dコンテンツ制作事業では、新たに連結子会社として設立した株式会社デジタルハーツ・ビジュアルを軸とし、より一層の盛り上がりが見込まれる海外の映像関連業界を中心とした顧客企業に対する営

業活動に注力し、平成24年9月には米国にサテライトオフィス「DIGITAL Hearts Visual LA Satellite Office」を設立致しました。

Fuguai.com事業におきましては、デバッグ事業との関連性を最大限に活かしたサービス開発に努めるとともに、認知度の向上に注力し収益化に向けた活動に努め、平成24年9月には当社として初めて国の行政機関である消費者庁の案件を落札致しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のその他の事業の売上高は129,389千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産の残高は2,494,220千円となり、前連結会計年度末における流動資産2,451,501千円に対し、42,719千円の増加(前期比1.7%増)となりました。

これは、主として法人税等の納付等により現金及び預金が215,030千円減少した一方で、売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が202,957千円増加したこと及び案件の増加に伴いたな卸資産が18,685千円増加したことによるものであります。

固定資産の残高は716,446千円となり、前連結会計年度末における固定資産708,394千円に対し、8,052千円の増加(前期比1.1%増)となりました。

これは、主として保険の解約に伴う保険積立金の減少等により投資その他の資産が48,961千円減少した一方で、案件の増加に伴うデバッグ機材の購入及び浅草Lab.(ラボ)の開設に伴い有形固定資産が38,226千円増加したこと並びにソフトウェアの購入等により無形固定資産が18,787千円増加したことによるものであります。

(負債)

流動負債の残高は779,860千円となり、前連結会計年度末における流動負債862,450千円に対し、82,589千円の減少(前期比9.6%減)となりました。

これは、主として未払法人税等が94,879千円減少したことによるものであります。

固定負債の残高は26,411千円となり、前連結会計年度末における固定負債30,953千円に対し、4,541千円の減少(前期比14.7%減)となりました。

(純資産)

純資産の残高は2,404,395千円となり、前連結会計年度末における純資産2,266,492千円に対し、137,902千円の増加(前期比6.1%増)となりました。

これは、主として1株当たり1,000円の期末配当を実施したことにより利益剰余金が57,981千円減少した一方で、四半期純利益の計上により利益剰余金が196,615千円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は1,382,646千円となり、前連結会計年度末における資金1,597,677千円に対し、215,030千円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は137,622千円(前年同四半期は239,207千円の収入)となりました。

これは、主として法人税等の支払額265,577千円、売上債権の増加額203,079千円及び未払消費税等の減少額51,948千円等の資金減少項目が、税金等調整前四半期純利益378,911千円等の資金増加項目を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は11,326千円(前年同四半期は194,304千円の支出)となりました。

これは、主として案件の増加に伴うデバッグ機材の購入等の有形固定資産の取得による支出68,444千円、浅草Lab.(ラボ)の開設等に伴う敷金及び保証金の差入による支出16,805千円等の資金減少項目が、保険の解約に伴う保険積立金の解約による収入65,096千円等の資金増加項目を上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は61,607千円(前年同四半期は44,371千円の支出)となりました。

これは、主として配当金の支払額57,724千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の受注動向等の業績を踏まえ、平成24年5月10日に公表致しました通期の連結業績予想を修正致しました。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日(平成24年11月2日)公表の「平成25年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(特定子会社の異動)

平成24年5月21日付けで株式会社デジタルハーツ・ビジュアルを設立したため、第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,597,677	1,382,646
受取手形及び売掛金	763,994	966,952
たな卸資産	994	19,679
その他	89,687	125,641
貸倒引当金	△852	△699
流動資産合計	2,451,501	2,494,220
固定資産		
有形固定資産	207,978	246,204
無形固定資産	62,540	81,328
投資その他の資産	437,875	388,914
固定資産合計	708,394	716,446
資産合計	3,159,896	3,210,667
負債の部		
流動負債		
未払費用	346,920	361,285
未払法人税等	275,780	180,901
賞与引当金	26,380	25,514
その他	213,367	212,158
流動負債合計	862,450	779,860
固定負債		
資産除去債務	3,060	3,849
その他	27,893	22,561
固定負債合計	30,953	26,411
負債合計	893,403	806,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	272,949	272,981
資本剰余金	232,949	232,981
利益剰余金	1,741,048	1,879,683
株主資本合計	2,246,947	2,385,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,444	△1,084
為替換算調整勘定	△3,107	△8,132
その他の包括利益累計額合計	△4,552	△9,217
少数株主持分	24,097	27,966
純資産合計	2,266,492	2,404,395
負債純資産合計	3,159,896	3,210,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,618,371	2,978,716
売上原価	1,633,491	1,982,469
売上総利益	984,880	996,246
販売費及び一般管理費	519,927	643,954
営業利益	464,953	352,292
営業外収益		
受取利息	1,106	144
受取配当金	—	575
助成金収入	3,609	4,583
その他	1,750	3,027
営業外収益合計	6,466	8,331
営業外費用		
支払利息	101	822
投資事業組合運用損	1,457	1,413
為替差損	6,027	1,557
債権売却損	733	—
その他	52	102
営業外費用合計	8,371	3,894
経常利益	463,047	356,728
特別利益		
保険解約返戻金	—	22,183
特別利益合計	—	22,183
税金等調整前四半期純利益	463,047	378,911
法人税、住民税及び事業税	227,645	172,694
法人税等調整額	△9,089	5,488
法人税等合計	218,555	178,182
少数株主損益調整前四半期純利益	244,491	200,729
少数株主利益	—	4,113
四半期純利益	244,491	196,615

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	244,491	200,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73	360
為替換算調整勘定	△11,192	△5,269
その他の包括利益合計	△11,118	△4,909
四半期包括利益	233,373	195,819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	233,373	191,950
少数株主に係る四半期包括利益	—	3,869

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	463,047	378,911
減価償却費	37,786	47,760
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	171	△152
賞与引当金の増減額 (△は減少)	580	△866
受取利息及び受取配当金	△1,106	△719
保険解約損益 (△は益)	—	△22,183
支払利息	101	822
為替差損益 (△は益)	6,080	180
投資事業組合運用損益 (△は益)	1,457	1,413
売上債権の増減額 (△は増加)	△310,249	△203,079
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△684	△18,509
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△22,082	△44,478
未払金の増減額 (△は減少)	9,957	21,338
未払費用の増減額 (△は減少)	151,234	14,507
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15,402	△51,948
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	17,124	4,903
その他	△310	158
小計	368,511	128,057
利息及び配当金の受取額	989	719
利息の支払額	△126	△822
営業保証金の支払額	△14,000	—
法人税等の支払額	△116,168	△265,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	239,207	△137,622
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△76,639	△68,444
有形固定資産の売却による収入	1,242	—
無形固定資産の取得による支出	△20,394	△13,369
敷金及び保証金の差入による支出	△15,441	△16,805
敷金及び保証金の回収による収入	27,800	20,196
保険積立金の積立による支出	△11,396	—
保険積立金の解約による収入	—	65,096
その他	523	2,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△194,304	△11,326
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	96	64
配当金の支払額	△42,981	△57,724
リース債務の返済による支出	△1,485	△3,946
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,371	△61,607
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,767	△4,474
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△9,236	△215,030
現金及び現金同等物の期首残高	1,054,725	1,597,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,045,489	1,382,646

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

当社グループは、デバッグ事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

当社グループは、デバッグ事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(株式分割)

当社は、平成24年8月3日開催の取締役会の決議に基づき、平成24年10月1日付けで、株式の分割を行っております。

① 株式分割の目的

投資家の皆様により投資していただきやすい環境を整えるため、当社株式1投資単位当たりの金額を引き下げ、株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的として、株式分割を実施致しました。

② 株式分割の方法

平成24年9月30日(ただし、同日は株主名簿管理人の休業日のため、実質上は平成24年9月28日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割致しました。

③ 株式分割により増加した株式数

(i) 株式分割前の発行済株式総数	5,800,500株
(ii) 今回の分割により増加した株式数	5,800,500株
(iii) 株式分割後の発行済株式総数	11,601,000株
(iv) 株式分割後の発行可能株式総数	38,400,000株

④ 株式分割の日程

(i) 基準日公告日	平成24年9月13日
(ii) 基準日	平成24年9月30日
(iii) 効力発生日	平成24年10月1日

上記の株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	21.11円	16.95円
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益金額	20.49円	16.47円

4. (参考)四半期財務諸表(個別)

この四半期財務諸表(個別)は「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づき当社が任意で作成したものです。

(1) (参考)四半期貸借対照表(個別)

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,474,054	1,228,348
受取手形及び売掛金	763,776	874,664
たな卸資産	994	7,081
その他	91,964	152,936
貸倒引当金	△852	△745
流動資産合計	2,329,938	2,262,285
固定資産		
有形固定資産	183,667	213,769
無形固定資産	48,042	63,959
投資その他の資産		
関係会社株式	169,186	327,563
その他	432,114	398,162
投資損失引当金	—	△46,791
投資その他の資産合計	601,301	678,934
固定資産合計	833,010	956,664
資産合計	3,162,948	3,218,949
負債の部		
流動負債		
未払費用	342,799	352,787
未払法人税等	275,780	179,813
賞与引当金	26,380	25,514
その他	210,179	162,204
流動負債合計	855,140	720,320
固定負債		
資産除去債務	3,060	3,849
その他	6,072	4,518
固定負債合計	9,132	8,368
負債合計	864,273	728,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	272,949	272,981
資本剰余金	232,949	232,981
利益剰余金	1,794,221	1,985,381
株主資本合計	2,300,120	2,491,344
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,444	△1,084
評価・換算差額等合計	△1,444	△1,084
純資産合計	2,298,675	2,490,260
負債純資産合計	3,162,948	3,218,949

(2) (参考)四半期損益計算書(個別)

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,618,371	2,841,019
売上原価	1,625,895	1,850,095
売上総利益	992,475	990,923
販売費及び一般管理費	516,555	572,129
営業利益	475,920	418,794
営業外収益		
受取利息	1,105	693
助成金収入	3,609	4,583
その他	1,750	5,157
営業外収益合計	6,465	10,434
営業外費用		
支払利息	101	91
投資事業組合運用損	1,457	1,413
為替差損	6,027	19
債権売却損	733	—
その他	52	39
営業外費用合計	8,371	1,562
経常利益	474,014	427,666
特別利益		
事業譲渡益	—	7,556
保険解約返戻金	—	22,183
特別利益合計	—	29,739
特別損失		
投資損失引当金繰入額	—	46,791
特別損失合計	—	46,791
税引前四半期純利益	474,014	410,613
法人税、住民税及び事業税	227,645	171,526
法人税等調整額	△9,094	△10,054
法人税等合計	218,550	161,472
四半期純利益	255,463	249,141

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループの報告セグメントはデバッグ事業のみであり、デバッグ事業においては事業分野別に記載しております。

① 生産実績

事業の特性上、該当事項はありません。

② 受注実績

当社グループのデバッグ事業は、業務の請負若しくは人材の派遣により業務が実施され、サービスの提供時間に対して課金するシステムを採用しているとともに、受注から販売までの所要日数が短く常に受注残高は僅少であり、期中の受注高と販売実績とがほぼ対応するため、記載を省略しております。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

区分		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	
		金額(千円)	前年同四半期比(%)
デバッグ 事業	コンシューマゲームリレーション	1,205,183	88.6
	デジタルソリューションリレーション	808,687	148.6
	アミューズメントリレーション	835,455	117.2
	小 計	2,849,326	108.8
その他の事業		129,389	—
合 計		2,978,716	113.8

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
株式会社バンダイナムコゲームス	287,818	11.0	—	—

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 当第2四半期連結累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合については、当該割合が100分の10以上である相手先がないため記載を省略しております。